

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	特定非営利活動法人ままとんきっず
-----	------------------

取組の名称	地域と連携した乳幼児の虐待予防のための居場所作りと相談機能強化 5
実施場所	ままとんきっず事務所（川崎市多摩区布田 24-26） グループリビングおでんせ中の島（川崎市多摩区布田 24-25）
対象地域	主に川崎市多摩区
対象地域の特色・課題	<p>■ 特色</p> <ul style="list-style-type: none">・多摩区ではマンションの増加と共に核家族化が進み、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し、地域とのつながりの希薄から親子で孤立化する傾向にあります。・地方出身の夫婦は実家のサポートを得ることが難しく、周囲に相談できる人がいない母親の場合は子育ての悩みを自分一人で抱えることになり育児不安やストレスに繋がっています。・2017 年の多摩区の調査では子育て世代の約 27%が孤立感を感じており、父親の子育てへの参加度が低くなるにつれ孤立感を感じる割合が高いことが分かりました。・虐待していると思うことがある人は約 15%にのぼり、また約 50%の母親が自分の時間を持ちリフレッシュすることを望んでいるという結果が出ています。・子どもや子育てに関わる支援団体・サークル等は多数ありますが、横の繋がりはありません。

	<p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや自身のコミュニケーションに不安を覚える母親は多く、地域の子育て支援センターなど大勢の親子が集まる場所には参加しにくい状況もあり、個別に対応する必要性が増しています。 ・子育ての悩みを一人で抱えていると知らず知らずの内にストレスが溜り、その矛先が子どもへと向かい虐待に繋がる可能性があります。 ・近年は家事や育児に関わる父親も増えてきていますが、仕事で忙しかったり実際に何をしたらいいのかわからない父親もまだまだ多く、パートナーとの関係に悩む母親も多いです。 ・子どもを0歳・1歳で保育園に入れて職場復帰する母親が増えていて、幼稚園への入園を検討している親子は孤立感を感じています。 ・コロナ禍での子育てで不安やストレスを抱える母親が増えていますが、身近で相談できる場であったはずの地域子育て支援センターは感染症対策で人数制限となっているため利用がしにくい状況です。
取組の趣旨・目的	<p>■趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子育ての悩みや不安・育児ストレスの軽減に繋がるような講座に参加することで、悩んだり心配したりしているのは「自分だけではない、みんな一緒」などと知り、お互いの経験を共有することでマスコミやネット情報に惑わされることなく親も子どもと一緒に成長していきます。 ・地域の関係各所や団体と連携して、乳幼児親子が安心して地域へ踏み出していくける地域作りに寄与します。

	<p>■ 目的</p> <p>・乳幼児の子育て家庭のニーズに柔軟に対応することで、新米ママサロンから始まる「切れ目のない子育て支援」が児童虐待の予防や子育て不安の解消に繋がります。</p>
実施内容・実施スケジュール	<p>1 通年事業 親子の居場所（年間 228 日）</p> <p>時期 4月～3月（月～金）</p> <p>場所 ままとんきっず事務所ほか</p> <p>対象 主に乳幼児親子、子育て支援に関心のある方</p> <p>内容 ままとんサロン 87 日 / 312 名 　一時預かり 21 日 / 22 名 　グループ保育 77 日 / 382 名 　ママサポート 173 日 / 316 名 　産前・産後サポート 120 日 / 156 名</p> <p>2 今年度特に取り組む事業</p> <p>① ケアを必要とする乳幼児と親のためのスペシャル講座（別室保育）</p> <p>時期 11月～3月 合計 3回</p> <p>場所 グループリビングおでんせ中の島（講座） 　ままとん事務所（保育）</p> <p>対象 主に乳幼児親子、子育て支援に関心のある方</p> <p>内容 専門家講師による講義と個別相談（子どもは別室保育）</p> <p>11/18 子どもの食事のお悩み相談 3組</p> <p>11/30 発達を理解する 2組</p> <p>1/22 パートナーとの関係 　（緊急事態宣言発出期間中のため中止）</p> <p>2/26 初めてのアンガーマネジメント 　（緊急事態宣言発出期間中のため中止）</p> <p>3/26 初めてのアンガーマネジメント 5組</p>

	<p>②新米ママのための子育て講座（全5回×2期）</p> <p>時期 I期 10月～11月 II期 2月～3月 (緊急事態宣言発出期間中のため中止)</p> <p>場所 グループリビングおでんせ中の島</p> <p>対象 第1子のママ</p> <p>内容 助産師によるアドバイスやママ同士の交流</p> <p>10/19 オリエンテーション 2組 10/26 ベビーマッサージ 1組 11/2 赤ちゃんにもママにも優しい安眠ガイド 4組 11/29 ふれあいあそび 3組 11/16 ふりかえり 3組</p> <p>③地域交流「中野島こども応援まつり」</p> <p>時期 12/3 (コロナウイルス感染拡大のため中止)</p> <p>場所 中野島会館</p> <p>対象 乳幼児親子、地域の方々</p> <p>内容 ステージ 落語（サイダー・中野島出身） 歌とダンス（ワガママ SUN バンド） ブース 工作ハギレ・糸で遊ぼう</p> <p>④おしゃべりホットライン</p> <p>時期 3月1日～3月31日（月～金）</p> <p>場所 ままとんきっず事務所</p> <p>対象 子育て中の方</p> <p>内容 子育てについて電話でおしゃべり</p>		
参加者の年代	0歳からシニア	定員 (1回あたり)	講座 親子8組 サロン 不特定多数 イベント 不特定多数
実施頻度	講座 月1、2回 イベント 年0回 サロン 月水金曜日	活動日数 (年間)	228日

スタッフ体制	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て経験豊かなスタッフが講座 MC・保育・サロンに入り、専門家からだけでなく先輩ママの生の声を気軽に聞ける環境を作りました。 ・保育については保育士・幼稚園教諭・子育て支援員の資格保持者を保育される子どもの人数とほぼ同数そろえて、きめ細やかな保育をしました。
連携する団体・連携の手法	<p>■連携する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している団体やグループ・主任児童委員さんたちと「中野島子ども・子育て応援ネットワーク」を立ち上げ、今後も連携先を増やしていきながら地域に根ざした活動をしていきます。 <p>団体名：中野島ファミリーカフェ おしゃべりサロンあゆみ 多摩区でプレーパークをやっちゃん会 わがまま SUN バンド コミュニティーハウス MUKU ひよっこりガーデン 川崎さくら児童家庭支援センター おやじの会 中野島学童ホール フードバンク川崎 結ケアセンター 主任児童委員 他</p> <p>■連携の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーリングリストや交流会でお互いの活動・地域の子育て環境や子育て家庭のニーズについて情報を共有しました。 ・今年度も多世代が参加できる地域交流のイベントを企画しましたが、コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

取組実施により見込まれた効果	<p>(新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月4日から全事業を休止し、緊急事態宣言明け6月から順次再開しました。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員申込制のサロンには必ずスタッフがいるので、コロナ禍での子育てで不安やストレスを抱える母親が安心して利用できました。 ・グループ保育・一時保育は母子分離により共依存に陥るのを防ぎ、家事や育児に悩む親子のためのサポート等は母親の心身の負担軽減に繋がりました。 ・スペシャル講座は専門家の話を聞いて相談もできました。子育ての不安やストレスを抱える母親がお互いの経験を共有することで「自分だけではない、みんな一緒」などと知り、親も子どもと一緒に成長する機会となりました。 ・新米ママのための子育て講座は初めての子育ての不安を軽減して、仲間作りのきっかけになりました。 講座後も地域内でスタッフと会う機会もあり、見守りに繋がりました。 ・乳幼児親子が地域の方々と交流する機会となるはずだったイベントは残念ながら中止となりましたが、準備期間中、地域で活動されている団体との情報交換や打ち合わせで連携がより深まりました。 ・3月からスタートした「おしゃべりホットライン」はサロンや地域子育て支援センター等に出かけにくい保護者が、自宅にいながら電話で子育てについておしゃべりができる孤独解消に繋がることを期待できます。
----------------	--